

◎ のへじ

2009.11.30

第129号

議会だより



のへじ産ホタテ直売に鈴なりの列 ～菖蒲町産業祭～

9月定例会

平成20年度決算認定	2
一般質問	4
委員会報告	9
輝け！のへじびと	10

平成20年度一般会計決算 黒字決算を維持

平成二十一年度第六回九月定例会は、九月十日から十五日までの六日間の会期で行われました。

町長から、報告二件、承認六件、平成二十年度各会計決算認定八件、補正予算案六件、条例規約変更二件、人事案件一件が提出され、それぞれ原案どおり、全会一致で承認、認定、可決、同意しました。

なお、九月十一日に開催された一般質問は、四ページから八ページに掲載しています。

各会計の歳入歳出決算状況

会 計		歳 入	歳 出	歳入歳出差引額
一 般 会 計		51億9,547万9千円	50億7,184万9千円	1億2,363万円
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険 事 業	19億3,658万5千円	19億2,677万5千円	980万9千円
	老 人 保 健	1億1,544万8千円	1億1,520万2千円	24万6千円
	後 期 高 齢 者 医 療	2億5,498万8千円	2億5,308万3千円	190万4千円
	介 護 保 険 事 業	13億5,978万5千円	13億2,385万円	3,593万4千円
	介 護 サービス 事 業	1,235万円	818万6千円	416万4千円
	下 水 道 事 業	2,099万1千円	2,098万7千円	3千円
	水 道 事 業			
	○収益的收入及び支出	2億7,798万3千円	2億7,009万3千円	788万9千円
	○資本的收入及び支出	4,865万円	1億8,336万9千円	※△1億3,471万9千円

※資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額1億3,471万9千円は過年度分損益勘定留保資金及び当年度消費税額及び地方消費税資本的収支調整額で補てんしました。

健全化判断比率と 資金不足比率

地方公共団体の財政健全化に関する法律で全国一律の指標に町の会計を比べてみました。

○実質赤字比率

国の示した基準は15% 普通会計が黒字のため、赤字比率は発生しておりません。

○連結実質赤字比率

国の示した基準は20% 連結の実質収支が黒字のため赤字比率は発生しておりません。

○実質公債費比率

国の示した基準は25% 全会計のほか一部事務組合も含まれ11.1%です。

○将来負担比率

国の示した基準は350% 全会計のほか一部事務組合、地方公社も含まれ115.4%です。

いずれの指標も健全化判断比率は、国の示した早期健全化基準を下回っております。

平成20年度はこのような事業を行いました。

バス路線維持対策費	1,380万円
就学奨励対策費	1,079万円
各種特定検診費	2,033万円
まちまか元気事業費	40万円
中山間地域直接支払事業費	82万円
帆立貝養殖業構造改善 緊急特別対策事業費	90万円
AED購入費	208万円

コミュニティ助成事業費	400万円
青色防犯灯設置費	39万円
道路新設改良費	7,688万円
4トンダンプ購入費	824万円
白岩人道橋改修工事費	924万円
除排雪作業費	4,573万円
河川災害復旧費	2,022万円
道路災害復旧費	1,008万円

平成二十一年度 補正予算の 中身は？

○一般会計

・老人福祉費

三三三万円

消防法の改正により、小規模福祉施設の消防設備に対してスプリンクラー整備費を交付するものです。

・子育て応援特別手当事業費

一千一四二万円

国の経済危機対策として、今年度限り、平成15年4月2日から平成18年4月1日までに生まれた子どもに対し、一人当たり3万6千円を支給するものです。

・下水対策費

二二四万円

住宅の改築に伴う浄化槽の設置に対して、当初予算で12基分の補助を計上していたが、要望が多いことから、さらに6基分を増額しました。

・水産総務費

二〇〇万円

ナマコの資源管理及び販路拡大事業として、野辺地町漁協にブランド化を図る目的で委託するもので、今年度からの3カ年事業で全額県補助で実施されます。

・商工総務費

三〇万円

町商工会がこれまで実施してきた『すっぱど・わっかど・あざんど祭り』を継続実施するため、一部経費を補助するものです。

・道路新設改良費

二〇〇万円

生活道路の舗装や側溝等で、小規模な修繕の依頼が多いため増額しました。

・若葉小学校費

一〇八万円

教室等のカーテンを取り替えるための経費です。

○国保特別会計

・一般被保険者高額療養費

五千一三三万円

一般被保険者の高額療養費が、当初の見込みより増加傾向にあることから、年度末までの金額を増額いたしました。

・出産育児一時金

七二万円

少子化対策のため、暫定的に本年10月より平成23年3月まで出産一時金を現行の35万円から4万円引き上げ、さらに本年1月に実施済みの出産に伴う産科医療保障制度に加入済みの産科医院で出産した場合、3万円を加算し、実質42万円が支給されることになったことから、増額いたしました。

・特定健康診査等事業費

一五六万円

特定健診における保健指導及び諸検査等を国庫補助によるヘルスアップ事業として実施するため補正するものです。

野辺地町教育委員会 委員の任命の件 全員賛成同意

野辺地町教育委員会委員の高田安雄氏の任期が平成21年9月30日をもって満了するので、新たに古田力也氏を教育委員会委員に任命することに同意しました。



古田 力也氏

《古田力也氏略歴》

昭和22年9月22日生
昭和45年3月
東洋大学経営学部商
学科卒業
昭和50年9月
野辺地町事務吏員
平成7年4月
野辺地町教育委員会
社会教育課長
平成10年4月
野辺地町教育委員会
教育課長
平成16年3月
野辺地町役場退職
平成16年4月
野辺地町助役就任
平成20年3月
野辺地町副町長退任

新型インフルエンザ 早急な対策を

江渡
正樹 議員



拡大防止策を示せ

江渡議員

本年6月議会においても伺いたしましたが、当時は全国で罹患患者数が600人前後でありましたが年内の推移として5人に1人の罹患率が出ると先般、厚生労働省が発表しました。

当町における現在までの罹患患者数の推移と、今後感染者が増加すると見込まれる現状に対し、受け入れ医療機関との連携を含めた具体的な拡大防止対策をお伺いいたします。

感染防止は 手洗い・うがい

亀田町長

8月末現在、当町において、新型インフルエンザに感染したと確認されているのは、8月11日に県教育庁から町の学校教育課に連絡があった野辺地中学校の生徒1名です。この

ケースは、感染源が青森市であったと推定されること、さらには、学校が、夏季休業中であったこともあって、他の生徒に感染することなく、さらには、家族への感染もなく、自宅療養し、無事2学期を迎えることができた。

感染防止については、手洗いやうがいの励行、マスクの着用あるいは、きちんとした食事をとり、疲れを残さないように体調管理に努めることが必要だと思いますので、これらについての啓発を進めているところであり、また、これから冬期にかけて、感染が盛んになることも予想されますので、広報には、万全を期して参りたいと考えております。

児童・生徒へ

「本物の舞台芸術体験」の機会を

優れた 舞台芸術鑑賞を

江渡議員

子どもたちが、優れた舞台芸術を鑑賞し、芸術文化団体による実演指導、ワークショップやこれらの団体等と共演に参加し、本物の舞台芸術に触れる機会を提供する事業である。

小中学生時代に本物の舞台芸術に身近に触れる機会を提供することにより、子どもたちが芸術を愛する心を育て、豊かな情操を養うことが出来ると思います。すが、いかがお考えか、お伺いします。

開催に向け 善処します

高田教育長

当町では平成17年度に馬門小学校において「劇団かかし座」による児童劇が公演されて以来、開催されておられません。

「本物の舞台芸術体験事業」については、現在、文化庁で本事業に参加する芸術文化団体を公募中であります。市町村への開催希望調査は来年1月頃、開催地決定は3月頃になるかと思いますが、学校長等と相談しながら、来年度、ぜひとも当町で開催できるように、また、仮に本事業が採択されなかったとしても、他の事業を活用したり、関係諸団体の協力を仰ぎながら、芸術文化の体験活動を大いに取り入れたいと考えております。

伝統の継承と観光振興のため 自治会祭典部へ支援を

野村
秀雄
議員



自治会祭典部 への支援を

野村議員

のへじ祇園まつりは、天候にも恵まれ、無事、成功に終わりました。

しかし、かつての姿と比べ、山車の数が減ってきています。経済状況の悪化や人口減少等の原因が考えられますが、来年に向けて対策を取らなければ、のへじ祇園まつりは、衰退の一途をたどることになると思います。

伝統の継承と、観光振興の面からも各自治会祭典部に対する何らかの支援が出来ないか、お伺いいたします。

前向きに 検討します

亀田町長

今年の山車の参加は、野辺地西高等学校を含め10台であり、過去に参加した最高台数13台と比較しますと3



山車が年々減少している祇園まつり

台減っております。各自治会が今後も継続して、のへじ祇園まつりに参加していただくためには、どのような課題を抱えているのか等について実情を把握するとともに、関係団体の意見等も参考にしながら、祭典部に対する支援が出来ないか、前向きに検討して参りたいと考えております。

敬老会開催にあたり 自治会への補助を増額できないか

補助金の増額は 出来ないか

野村議員

敬老会が、町主催から各自治会に移管され久しくなります。

その間、高齢者人口は増え続け、町等からの補助も小額のままです。年々、自治会の負担も重くなってきており、補助金の増額が出来ないものか、お伺いいたします。

自治会に 配慮します

亀田町長

平成13年まで、まかど温泉に75歳以上の方々を一堂にお迎えし「野辺地敬老会」を開催しておりました。

しかしながら、高齢化の進展に伴いまして、対象者が急増し、開催場所や送迎の経費などがかさみ、一堂に会しての開催が困難になりました。平成14年度からは、自治会に、敬老の行事を開催して

いただくことになり、平成15年度からは社会福祉協議会においても共同募金の配分金の中から補助する事になりました。町の分を含めて一人当たり750円を補助しております。社会福祉協議会においては、限られた共同募金の配分金からの補助ですので、増加する対象者をカバーできず、結果として一人当たりの金額が減少している現状です。

町では来年度の予算編成に向けて、一人当たりの金額をどれくらいにすべきかを十分検討し、高齢者人口が増えても、自治会の負担が急増しないよう配慮して参りたいと考えております。



古林 輝信 議員

県道野辺地・野辺地停車場線 整備事業について

事業の進捗状況は

古林議員

県道野辺地・野辺地停車場線の整備については平成20年度から平成24年度までの5年間で、城内橋付近から野辺地駅へ曲がる交差点付近までの間に2・5メートルの歩道を設置し、併せて現在の車道を2メートル拡幅して7・5メートルに整

備する計画ですが、事業の進捗状況をお伺いします。

事業概要と進捗状況

亀田町長

事業期間は、平成20年から24年までの5年間で、事業費は、3億円、整備する区間は、



整備が待たれる野辺地・野辺地停車場線

城内橋付近から野辺地駅へ曲がる交差点までの940メートル、21年8月までの進捗状況は用地買収三千四百七十六平方メートルに対し、契約済み155平方メートルの4・47パーセントで移転保証については41件に対し2件の0・32パーセントです。

橋から上の 拡幅整備は？

古林議員

城内橋及び、橋から警察署付近までの勾配のきつい道路の拡幅についても整備が必要だと思いますので、今後関係機関に働きかけてはどうか、お伺いします。

早期整備に 取り組む

亀田町長

この区間も、歩道が無いことから通学生はもろろのこと、一般の歩行者も含め、危険を強いられ通行しているのが現状で、町民の安全・安心確保の観点からも、現在の整備区

間の進捗状況を見守り、今後、県と連携を図り、早期整備に向けて取り組んでまいります。



勾配のきつい城内橋付近

防災無線施設整備施工監理業務再入札 810万円割高になったことについて



岡山 義廣 議員

入札妨害ではないのか？

岡山議員

入札参加の要件を満たしていない業者を入札に指名参加させ落札させたことは公正な指名競争入札において公正さを害すべき行為で、町当局が業者に入札妨害させてしまったと思わざるをえないが、どのようにお考えか、お伺いします。

入札妨害にはあたらぬ

亀田町長

入札参加資格の要件に関する内容については入札参加業者、全業者にお知らせしており、全業者共通認識の基に入札が執行されたものであり、入札妨害には該当しないと考えています。

試験局の免許が入札の要件とは

岡山議員

入札要件設定に、デジタル実験試験局の免許を持つか指名業者以外から借上げ契約を結んでいることとなっているが、このような要件をなぜ付したのか、お聞かせください。

電波試験時に必要となる

亀田町長

パンザマストの用地借り上げがうまく行かずに、設置場所を移動しなければならぬ事態も想定され、その際、新たに電波試験も必要となることから、この免許を要件として付したものです。

業者に損害を与えたのでは？

岡山議員

落札無効となった業者に多大な負担を与えたと思わざるをえませ

んが、その責任をどのようにお考えか、お伺いします。

業者側も理解している

亀田町長

最低価格応札者に対しては、町から赴いて、副町長から入札会において、事務手続き上の手違いがあったことについておわび申し上げるとともに、入札会の取り消しと再入札を行う旨を説明し、社長さんからご理解をいただき「再入札はやむを得ない。」との回答をいただいております。

随意契約も必要枠では？

岡山議員

落札無効となった業者にデジタル実験試験局の借上げ先を変更して、随意契約の対応をとることも必要枠と思われるが、どのようにお考えかお伺いします。

議員質問は結果論である

亀田町長

議員のご質問は結果論であり、そのような対応も考えられましたが、入札会において一旦落札者が決定したもので、他の入札参加業者がすでに帰った後で要件等が変更できないと判断し、再入札に至ったものです。

再入札が割高の責任は

岡山議員

1回目の落札価格より810万円割高に



デジタル化された防災無線設備

競争入札の結果である

亀田町長

このことについては、あくまでも再入札の結果であり、再入札に際して作成した仕様書に基づく業者間の競争による結果と受け止めております。

なったことに対して報道等では理解したいと指摘しているが町長のお考え、責任はどのように考えているか、お伺いします。

国保会計の 今後の見通しを示せ

梅村

毅 議員



国保会計の 見通しについて

梅村議員

国民健康保険事業特別会計の平成22年度以降の財政見通しについて伺います。

前向きに 検討します

亀田町長

国民健康保険事業特別会計の平成20年度の財政状況は980万円の剰余金が生じました。

これまで赤字を出すことなく健全な事業運営に鋭意努めているところであります。

財政状況につきましては、20年度において、国保会計の財政調整基金がゼロとなり、歳入不足が見込まれたため、一般会計から7千500万円を繰り出してあります。

平成22年度以降の財政見通しは、収入においては国保加入者のうち満75歳以上となる高

齢者の方々が、毎年200人前後、後期高齢者医療制度に移行すると考えられ、加えて40歳から64歳までの被保険者も減少することから国保税のうち介護納付金分と後期高齢者支援分の負担が年々増加することになり、支出についても、平成17年度より3%程度の伸び率で推移していきます。

ただし、重篤な病気が発生した場合は、高額療養費の大幅な増額が生じますので国保財政は今後とも厳しい状況が続くものと予想されます。

現在担当課で国保財政を健全にするための施策を策定しておりますが、このたびの、衆議院議員選挙の結果、政権交代による医療福祉政策の改革が予想されることから、その推移を見守っていきたいと考えております。

原子力立地給付金の 活用方法について

アンケートを 実施しては？

梅村議員

東北電力と需要契約を結んでいる一般家庭と企業に町を経由して原子力立地給付金されていますが、現在横浜町、むつ市では、一般事業に繰り入れて活用していると聞いております。

当町でも立地給付金の活用方法について町民に対しアンケート調査を実施する考えはあるのか、伺います。

慎重に 対処します

亀田町長

原子力発電施設等周辺地域交付金は全町内の一般家庭の契約口数に9千円を乗じたものと企業向けにキロワット数に187円を乗じた金額が交付されており、平成20年度は1億900万円ほどであります。

現在町が直面してい

る環境を見ますと、学校施設や役場庁舎の整備はもちろんのこと、老朽化した公共施設の計画的整備をするうえで財源の確保は喫緊の課題です。

今後この交付金の使途については検討を要すると考えておりますが、まずは議会の皆様と十分な議論を重ねたうえで、町民の皆様ともご相談し、十分な理解を得たうえで判断していきたいと考えており、また、アンケートについては、公共施設のあり方、財政の見通しなどについて検討を重ね、町全体で共通の理解を得ることが大切であると考え、アンケートの実施は、慎重に対処したいと考えております。

委員会報告

総務 常任委員会

総務常任委員会は、8月5日に開催され、平成二十年度一般会計決算の概要をはじめ、各課からの説明を受けました。

妊婦健診費用の国負担拡大

妊婦検診は概ね14回行いますが、平成二十一年四月から二十三年三月三十一日まで14回分が無料になります。

平成二十年度 一般会計決算

本誌2・3ページ参照

救急医療情報キット 交付事業の導入

高齢者や障害者等の安全・安心の確保のため、医療情報等を冷蔵庫等に保管し、119番出動の際、救急隊が情報を確認し速やかに対応できます。

平成二十年度の町 税収納状況は

町民税収納率	88%
法人町民税	96%
固定資産税	78%
たばこ税	100%
国民健康保険税	61%

町長交際費の公開 について

支出年月日、支出区分、支出金額については、ホームページあるいは総務課において閲覧等によって公開していきたい。

建設産業 常任委員会

建設産業常任委員会は、8月11日、9月2日に開催され、建設環境課、水道課、産業観光振興課の所管事務について説明を受けました。

除雪作業評価制度 の廃止

除雪業者数が年々減少している中、評価により業者を除外するのは無理な状況であるため、今年度から制度を廃止し、パトロールの強化等で苦情がなくなるといたしました。

地域活性化・経済 対策臨時交付金事業

道路改良工事3件、舗装新設工事6件の道路整備を計画しており、調査設計が終了し次第、順次工事に取りかかる予定です。

地域グリーン ニューデール基 金事業

国の緊急経済対策事業の一環として、今年度から3カ年で実施され、主な目的は地球温暖化対策で、当町では、健康増進センターに太陽光発電設備とLED照明を設置し、町民の省エネに対する自発的行動を促すというものであります。

地域商店活性化対 策事業（プレミアム 商品券）

本年4月から10月の販売期間で実施し、4月27日に好評の内に完売したプレミアム商品券について、町では長引く景気低迷により町民全体の消費生活にも多大な影響が及んでいることから、国の地域活性化・経済危機対策臨時交付金を活用し、第2回目の販売を9月15日から12月25日まで行うことにいたしました。

かわらけつめい研 究開発事業

ふるさと雇用再生特別対策事業で実施するもので、かわらけつめいの研究開発とけつめい茶及び関連商品の普及宣伝を目的として、現状は作付けしたかわらけつめいの栽培管理を行い、町内及び近隣町村で行われるイベント等で、けつめい茶及び関連商品の普及宣伝活動を行っています。

ナマコ等の資源管 理及び販路拡大事 業

禁漁期間中に混獲されるナマコの移植後の放流効果と放流場所の環境調査やナマコの生食販売用パッケージを開発しブランド化を推進し、県内はもとより首都圏でナマコのほか野辺地漁港で水揚げされた水産物の販売を行い、消費拡大を図るものです。

原子燃料サイクル 施設対策特別委員会

原子燃料サイクル施設対策特別委員会は、9月2日に開催され、日本原燃からは平田副社長をはじめ4名の出席をいただき、再処理工場の現状・工程変更等について説明を受けました。

再処理工場の竣工は8月31日から来年10月に変更したこと、児島社長に代わり川井副社長が新社長に就任したとの報告を受け、工場内で起こった、かくはん棒の曲がり及びガラス溶融炉天井レンガの一部損傷、高レベル廃液漏えいと保安規定違反などの事象に対する今後の取り組み等の説明を受けました。



やる気みなぎる男子チーム



のへじびと

第1回

— 野中駅伝チーム —

去る9月25日に、東北町で行われた青森県中学校駅伝競走大会において、野辺地中学校が3年ぶりに男女アベック優勝を果たしました。

男子は3年ぶり5回目、女子は4年連続7回目の栄冠で、12月19日に山口県で行われる全国大会への切符を手に入れました。

今回は、男女キャプテンに全国大会に向けての意気込みをお聞きました。

○男子キャプテン 野坂亨平君（3年）

一生懸命練習した力を大会で出せるように頑張ります。チームワークは最高！



笑顔さわやかな女子チーム

○女子キャプテン 阿部紫穂さん（3年）

感謝の心、挑戦する気持ちを持って、昨年以上、過去最高の成績を目指します。

この欄では毎回、スポーツ、芸術などの活動をしているクラブを紹介します。希望者は議会事務局までご連絡ください。

傍聴をせませんか？
議会開催日は

12月9日
からです。

12月定例会の日程 (予定)

12月9日（水）
・ 町長が議案の提案理由を説明します。
・ 各委員会の委員長が活動の報告をします。

12月10日（木）

一般質問
・ 議員本人があらかじめ提示したテーマで質問し、それに町長ほか町執行部が答えます。

12月11日（金）

・ 定例会初日に説明された議案に対し、質疑・討論・採決が行われます。

編集後記

このたびは、議会だより129号をお読みいただき、ありがとうございます。

お気付きのとおり、今回から誌面を全面リニューアルし、ひとりでも多くの町民の方々に読んでいただけるような誌面作りを心がけ活動してまいります。

また、「この記事についてもっとよく知りたい。」などのご要望にも対応できるように体制を整えていきたいと考えております。

これから、寒い日が続きますが、お体をお大事に健やかにお過ごしください。（木明）

議会広報委員会

委員長	木明 和人
副委員長	古林 輝信
委員	倉岡健次郎
〃	四戸 弘志
〃	蛭名 猛
〃	野村 秀雄